

10月	矢作川 愛護モニター報告	モニター区間	矢作川:左右岸 15.0km~21.0km 管轄出張所:岡崎・安城出張所
実施日	令和 5 年 10 月 6 日	実施区間	15.0km ~21.0km (左岸)

秋晴れの下、静かに流れる 渡橋付近の矢作川

10月のモニタリングは渡橋付近から、左岸に入りました。快晴の秋空の下、矢作川は穏やかな表情を見せていました。

美矢井橋に向かって車を走らせ、途中、大きな「大聖寺」の看板標識がある河川敷公園に入りました。この公園は、たいへん広く、球技もできる広場があります。河川敷を美矢井橋方面に向かって、歩きました。途中、河川敷では、除草作業などが行われていました。整備された河川敷は、まるでゴルフ場のフェアウェイのようにきれいになっていました。堤防も美矢井橋の下も、大変きれいになっており、秋の休日、歩くだけでも、気持ちが穏やかになりました。



①秋の陽光を受け静かに流れる矢作川(渡橋)



② 美矢井橋付近で続く除草作業

エノキが一行に並ぶ公園

実の色が秋到来を告げる

今年の夏はいつになく高温が続き、秋はいつくるのかと思いましたが、それでもエノキは秋の到来を告げているようでした。葉っぱの間をよく見ると、色づいたエノキの実がたくさん枝についていました。

円形の植え込みも大変きれいに手入れされており、弁当でも広げたい気分になります。この一帯の矢作川と河川敷のすばらしさを、多くの人に知ってもらいたいです。



③整備された河川敷公園のエノキ並木(上,下)

河川水だけでなく、河川敷も岡崎、安城両市民の大切な生活・環境資源になっていることを再認識しました。



④ 色づいたエノキの実

